健康経営に関する取組み

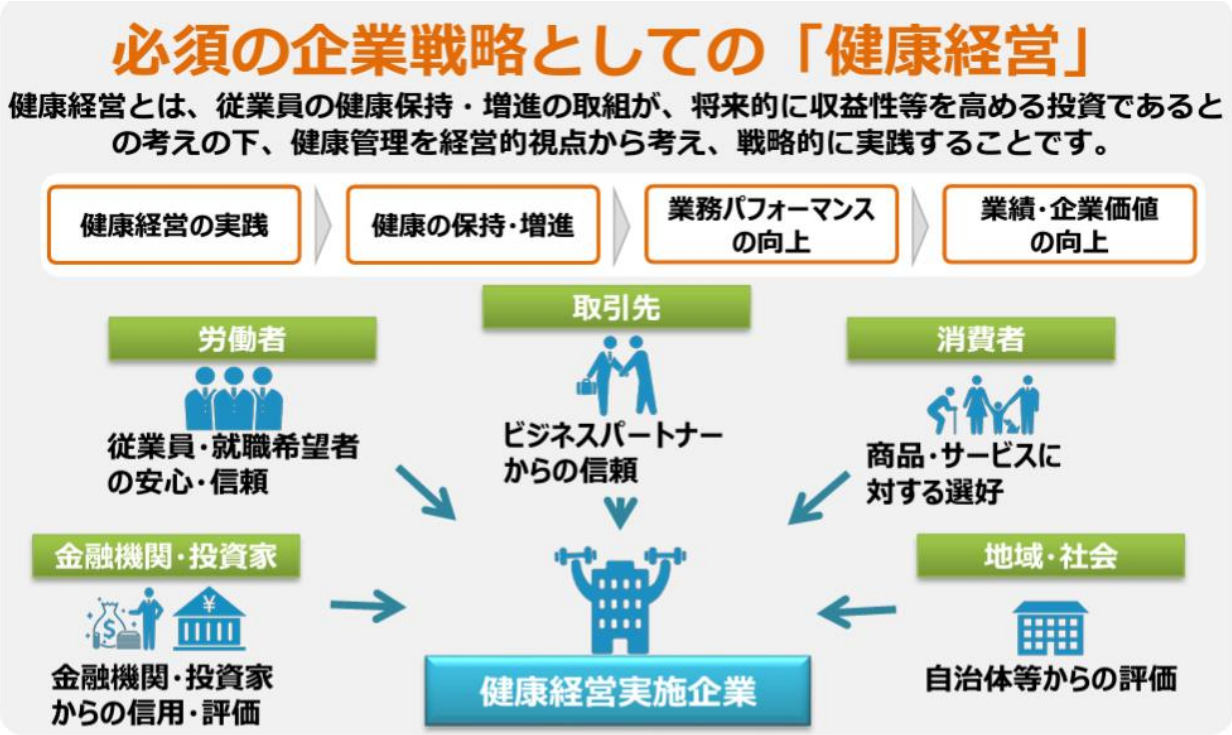
Copyright ⓒ Prime Assistance Inc. All Rights Reserved

健康経営の意義

Prime Assistance

ＳＯＭＰＯグループの経営理念である「お客さま視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを実現するためには、その原動力である**社員と家族の心と体の「健康」が大切**である。当社はその考えに基づき、社員一人ひとりが心身ともにより良い健康状態でパフォーマンスを高め、働きがいを実感できる環境づくりを目指す。

当社の存在意義の発揮、持続的な成長のため、生産性の向上と社員の心身の健康維持・増進を経営の重要なテーマの一つと位置づけ、健康経営に取り組む。



経済産業省「必須の企業戦略としての「健康経営」」より抜粋

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

プライムアシスタンスの経営方針と健康経営の結びつき

Prime Assistance

ＳＯＭＰＯのパーパス

“安心・安全・健康” であふれる未来へ

ＰＲＡの経営理念

「最上級のサービス」で世の中のあらゆる
お困りごとからお客さまをアシストする

目指す姿　社会の基盤づくりに参画している会社

経営方針

- 社会のニーズを捉えたサービスの提供
- デジタル技術を活用した業務プロセスと
  ビジネスモデルの変革
- **働きがいと成長を実感しながら働くことに
  誇りを持てる会社への変革**

コア・コンピタンス（人財・ネットワーク・ＩＴ／デジタル）

組織能力とカルチャー

ＰＲＡ人事戦略の目指す姿

成長と働きがいを実感しながら、
働くことに誇りを持つ多様な人財があふれる会社

価値創造　変革　成長

ＰＲＡの健康経営

★創造性・生産性の向上
★社員がいきいきとやりがい・充実感をもった人生
（会社生活＋プライベート）を送ることができる
環境を創出

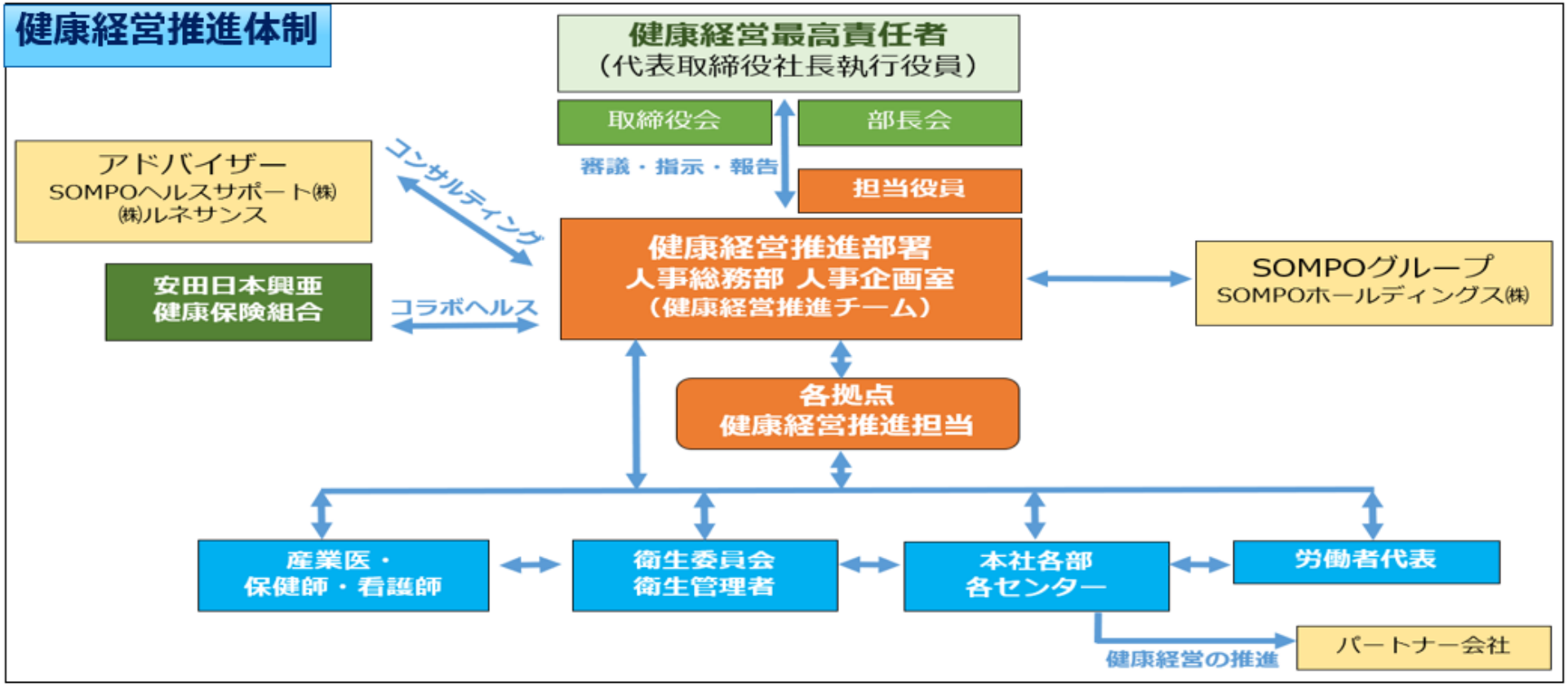
重点テーマ	ＤＥ＆Ｉの実現と健康経営の深化
重点施策	・健全で良質な組織風土の醸成 ・**健康経営の深化** ・メンタルヘルス対策
主要KPI	・ワークエンゲージメントの向上 エンゲージメントサーベイQ12 ・仕事のパフォーマンス総合指標（WLQ-J） 94.0以上 ・メンタル離職の減少
企業価値の最大化	多様な価値観を持つ社員がそれぞれの能力を活かし合い融合（インクルージョン）し、健全で良質なカルチャーを醸成しながら、人財価値が最大化されている状態

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

推進体制と取得認証制度

Prime Assistance

健康経営推進体制



取得認証制度

2017年～健康企業宣言「銀」
2019年～**健康企業宣言「金」**
認定団体：健康保険組合会東京連合会

健康優良企業

2018年度～ 連続認定
健康経営優良法人
（ホワイト500）
認定団体：経済産業省

2024 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

2021年～
スポーツエールカンパニー
認定団体：スポーツ庁

SPORTS YELL COMPANY 2024

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

健康経営戦略マップ

Prime Assistance

健康投資（各種施策）

【体制】
- 健康経営推進最高責任者
- 健康経営推進チーム
- 産業医/保健師/看護師
- カウンセリングサービス

【システム】
- ネットワーク健診（i-Wellness）
- Growbase（健康管理クラウド）
- eラーニング

【制度】
- 休復職支援
- 裁量労働
- テレワーク
- 各種休暇制度

【調査】
- 健康意識調査

【情報発信】
- 専門職による各種コラム
- ビデオオンデマンド

心の健康の維持・増進

- ストレスチェック
- 従業員エンゲージメント調査
- ラインケア/セルフケア研修
- 専門職による面談体制/カウンセリングサービスの充実

体の健康の維持・増進

- 健康診断
- Growbaseの活用
- 健診結果分析
- 健康保険組合との連携
- テーマ別セミナー（睡眠・女性の健康・禁煙）
- ヘルスアップ月間
- SOMPOグループ横断のイベント参加

その他

- インフルエンザ予防接種集団接種/費用負担
- ノー残業週間/休暇取得促進

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- ストレスチェック受検率
- 総合健康リスク120以上の部ゼロ
- メンタル休務者新規発生者数
- エンゲージメントスコア
- 定期健康診断受診率
- 定期健康診断二次健診受診率
- 特定保健指導実施(終了)者(終了率)
- 適正体重維持者率
- 喫煙率
- 運動習慣者比率
- インフルエンザ罹患者発生率
- 年次有給休暇の平均取得日数
- 年間長時間残業（360時間超）人数

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

生活習慣の改善、セルフケアの定着（運動習慣者比率/喫煙率、ストレスチェック）

疾病予防/改善（二次健診受診率/特定保健指導実施率）

働き方改革の推進、適切な就労環境の確保（総実働時間/有休取得率）

健康関連の最終的な目標指標

心の健康の維持・増進（総合健康リスク等）

体の健康の維持・増進（健診有所見率等）

社員満足度・働きがいの向上（Q12スコア）

労働損失の低減（プレゼンティーズムの改善（WLQ-Jスコア）、アブセンティーズムの低減（当欠率）

健康経営で目指す姿

「創造性・生産性の向上」

「社員がいきいきとやりがい・充実感をもった人生（会社生活+プライベート）を送ることができる環境を創出」

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

健康課題と主な効果検証指標

Prime Assistance

・当社社員の**生活習慣と生産性（WLQ-Jスコア）に相関がみられる**ことから、**「心と体の健康の維持・増進」を最重要課題**として取り組む。
・**ウエルビーイング（社会的・身体的・精神的に健康である状態）とエンゲージメントには高い相関関係**が確認されており、**健康経営の実践により社会的・身体的・精神的に健康である状態（ウェルビーイングな状態）を作り、エンゲージメントの向上につなげる。**

重点取組課題		設定KPI	目標値	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
心の健康の維持・増進	1	ストレスチェック受検率	90%以上	96.0%	93.9%	97.2%	97.3%
	2	総合健康リスク 120以上の部	0部	0部	0部	0部	0部
	3	メンタル休務者　新規発生者数	対前で減少	対前で減少	対前で減少	対前で増加	―
体の健康の維持・増進	4	定期健康診断受検率	100%	100%	100%	100%	100%
	5	定期健康診断　精密検査受検率	70%以上	66%	64%	52%	55%
	6	特定保健指導実施（終了）者（終了率）	90%	集計中	71.1%	72.3%	70.3%
	7	適正体重維持者率（BMIが18.5～25未満）	70%以上	62.0%	61.8%	58.5%	61.9%
	8	喫煙率	17%以下	18.3%	17.9%	18.0%	19.8%
	9	運動習慣者比率	10%以上	18.3%	17.0%	14.0%	11.3%
その他	10	インフルエンザ罹患者発生率	10%以下	4.6%	1.2%	0.0%	0.0%
	11	年次有給休暇の平均取得日数	12日以上	16.6日	15.9日	15.3日	15.6日
	12	年間長時間残業（360時間超）人数	0人	4人	5人	0人	0人

6,7：各項目;　6,7：各項目対象者/40歳以上　6,7以外：各項目対象者/全社員

重点取組課題の効果検証	設定KPI	目標値	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
プレゼンティーズムの改善	パフォーマンス総合評価（WLQ-Jスコア）	94.0%以上	93.6%（回答数818名/回答率92.4%）	93.4%	94.0%	94.0%
エンゲージメントの改善	エンゲージメントスコア（Q12スコア）	3.50以上	3.33（回答数932名/回答率85%）	3.33	3.39	3.38
アプセンティーズムの低減	当欠率（勤務日数に対する当欠日数の割	対前で減少	2.4%（測定対象者1188名）	1.8%	―	―

WLQ-J：Work Limitations Questionnaire 健康問題による業務生産性低下率を測定する指標（100%が最も生産性が高い状態）
Q12スコア：12項目の設問を用いて従業員のエンゲージメントを測定する指標（5段階）

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

社員の健康意識とパフォーマンス

Prime Assistance

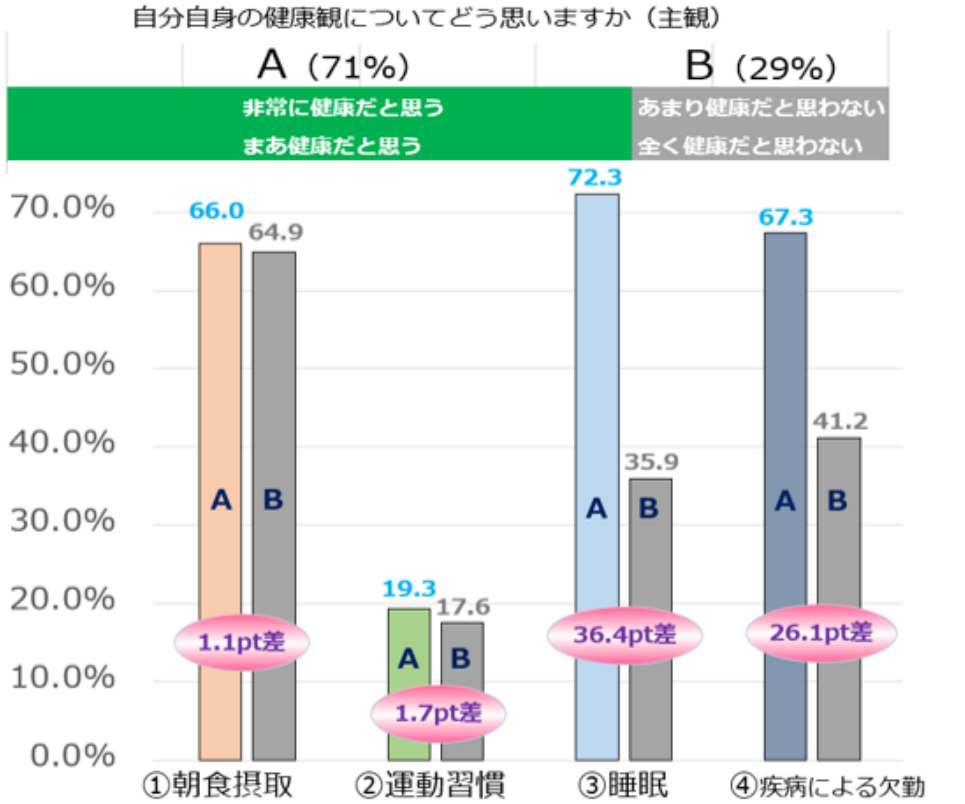
★健康観と生活習慣（高い社員（＝健康と感じている）とそうではない社員の差）

①朝食摂取（1.1pt差）と②運動習慣（1.7pt差）に一定の相関がみられる。
③睡眠（36.4pt差）と④疾病による欠勤（26.1pt差）には強い相関がみられる。

★健康観・生活習慣とパフォーマンス発揮度

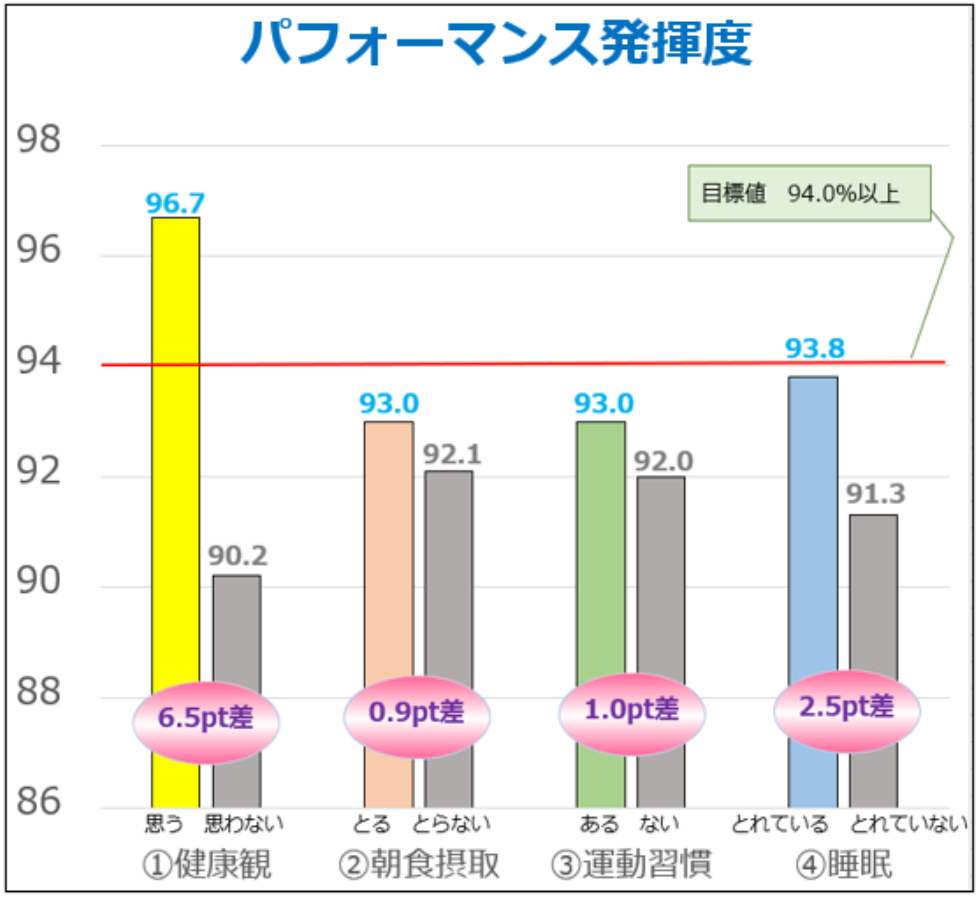
①健康観（6.5pt差）や④睡眠状況（2.5pt差）がよい社員は生産性が高く、強い相関がみられる。
②朝食を摂取している社員や運動習慣がある社員は生産性が高く、一定の相関がみられる。

社員の健康観と生活習慣



①朝食を摂取している割合　②運動習慣がある割合（１回30分以上の軽く汗をかく運動を週２回以上、１年以上実施）
③睡眠で休養が十分とれている割合　④直近3か月間において、健康上の問題（※）により勤務を欠いた時間ゼロ

パフォーマンス発揮度



PRA健康意識調査結果（2024年度）と2023年度パフォーマンス発揮度（WLQ-J）との相関検証

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

具体的な取り組み（心の健康の維持・増進）

Prime Assistance

（1）メンタルヘルス対策

ラインケア/セルフケア研修の実施、メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種の資格取得奨励、メンタルヘルス不調者への産業医・保健師による面談、メールカウンセリングによる健康管理体制の充実、ストレスチェックの実施、復職支援体制の整備など

ストレスチェックの実施

毎年１回の実施が義務（労働安全衛生法）
総合健康リスク「120」以上の場合　⇒　**ストレスが高い状態**
早期の職場環境改善が必要！

組織単位で集計し、職場環境改善に活用
総合健康リスク120以上の部＝ゼロ
（24年3月実績）

自身のストレスの状態や原因を把握やストレスへの対処（セルフケア）のきっかけに！

相談室

対面の他、メールやWebによる産業医面談やカウンセリングの体制を整えています。
管理者のコンサルテーション（部下や社員への対応方法に関する相談）も利用できます。

社員一人ひとりが働きがいを感じながら安心して働ける環境を醸成

“人財定着・離職防止“

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

具体的な取り組み（体の健康の維持・増進）

Prime Assistance

（2）生活習慣病・重症化予防（投資費用650万円）

健康リテラシーの向上（eラーニングの拡充・見直し）、健診管理システムGrowbaseを活用した二次健診受診勧奨、各種健康データの利活用、健康に関するコラムの発信 など

（3）プレゼンティーズム対策

各種セミナーの実施（快眠セミナー、肩こり・腰痛セミナー　など）

（4）運動習慣の向上

ヘルスアップ月間の実施、ビデオオンデマンドの活用、健保組合主催ウォーキングイベント参加、SOMPOグループ横断のイベント参加、地域運動イベントへの協賛・参加など

（5）禁煙対策

就業時間内完全禁煙化計画の実行、健保による禁煙推進事業の情宣、禁煙ポスターの掲示 など

健康問題に起因した業務パフォーマンスの低下
創造性・生産性の低下

→

健康知識の習得や運動習慣の向上（各種セミナー・イベント）による体の健康の維持・増進

→

- **健康診断受検率 毎年100%**
- **二次健診受検率 66.7%**（2023年度）
- **運動習慣者比率 18.3%**（2023年度）
- **健康イベント参加率 41.1%**（参加者約8割が満足と回答）
- **女性の健康課題に関する教育受講率92.2%**

“心も身体も健康で自由闊達な職場”を実現

“創造性・生産性の向上“

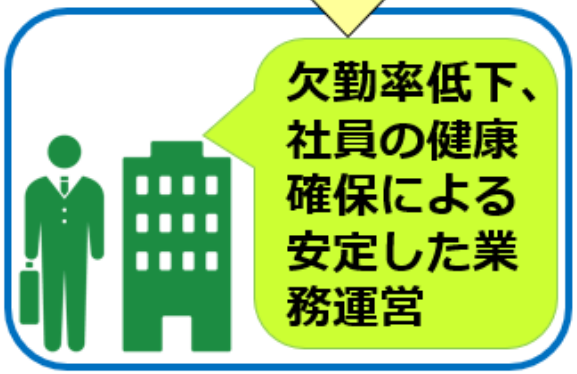
Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

具体的な取り組み（その他）

Prime Assistance

（6）感染症予防（投資費用520万円）
制度整備（テレワーク、特別休暇付与など）、感染症防止グッズの設置、抗原検査キット配備、インフルエンザ予防接種費用全額会社負担（社員・扶養家族）/集団接種の実施　など

感染症による業務中断リスク → インフルエンザ集団予防接種などの感染症予防対策の実施 → **インフルエンザ罹患者発生率 4.6%**（2023年度）



（7）労働対策
休暇取得推進、残業時間の警告メールの自動配信、ノー残業デーの実施、安全管理（労災防止）教育（度数率6.39）　など

◆過重労働による健康障害
◆創造性・生産性の低下
→
◆年休取得５日義務
◆36協定上限時間の順守
→
◆年休5日未取得毎年ゼロ
◆36協定特別条項申請者 4人（2023年度）

Copyright © Prime Assistance Inc. All Rights Reserved.

Prime for you

あなたと社会をアシストする